



汐鳴り

二宮中学校学校だより

ホームページアドレス: ninomiya-junior-high-school.edumap.jp/

令和3年度

No. 6

発行: 松本雅志

◎令和3年を振り返って

令和3年が終わろうとしています。今年もコロナウイルスに翻弄された1年でした。1月の緊急事態宣言に始まり、まん延防止重点措置等で1年間の多くの時間、正常な教育活動ができませんでした。そのような中でも、生徒たちは感染予防に努めながら「できることをできるだけ」精一杯に行っていました。

令和3年度は中学校学習指導要領が全面実施となり、「主体的に学習に取り組む態度」が一層重視されるようになりました。本校でも、それに伴い「一人も見捨てられない授業」を研究テーマに「全員挙手」や「相互指名」の授業に取り組み始めました。この取り組みは、町の小中5校すべてで始まっており、将来の小中一貫教育につながる大切なものとして今後も継続していきたいと思えます。

行事等については、6月に「汐鳴祭体育の部」を実施しました。今年度も昨年度に引き続き、ソーシャルディスタンスを意識した競技を体育委員会で創り出し、色ごとに競い合い楽しく充実したものとなりました。体育委員、生徒会本部、学級代表などそれぞれのリーダーがその力を存分に発揮してくれました。

9月に予定していた修学旅行は、コロナウイルスの第5波によって残念ながら行くことはできませんでした。卒業期には、卒業遠足としてぜひ、思い出に残る旅行をしたいと思えます。

10月には「汐鳴祭文化の部」が行われました。こちらも第5波の影響が残り、残念ながら合唱コンクールを実施することはできませんでしたが、各クラスで取り組んだクラス展示では、素晴らしいステンドグラスが見られました。また、美術部や手工芸部の発表、教科の発表でも目を見張るものがありました。

さらに学習の面で令和3年度から特徴的だったものは、タブレットパソコンの導入があります。授業においても生徒たちは常に身近な場所に置き、調べ物をしたり、発表用のスライドを作成したりと大いに活用をしています。また、授業だけではなく生徒評議員会や立会演説会といった生徒会行事や委員会の話し合いなどにも利用されています。情報化社会への対応として進んで活用してほしいと思えます。

その他にも、学校運営協議会による「秋祭り」の開催や、ラビッツクラブによるフットサル教室、町の職員による「認知症サポーター養成講座」の開催、「地球戦隊スクウージャー」による環境教育など様々な方々が二宮中学校に関わってくださいました。ありがとうございました。

令和3年を振り返り、令和4年が生徒たちにとってより良い充実した1年になることを祈っています。



◎夢をかなえることの素晴らしさ

令和3年の「今年の漢字」は「金」となりました。これは、東京オリンピックで史上最高のメダル数を獲得したことや、メジャーリーグの大谷翔平選手のMVP獲得といったスポーツ界における日本選手の活躍によるものでしょう。特に大谷選手の「二刀流」は流行語大賞にも選ばれました。その活躍は日本にとどまらず、世界中の人々に影響を及ぼしていると思います。

大谷選手が一流の選手になった裏には並々ならぬ努力があったことは想像に難くないですが、高校時代に作成した「マンダラチャート」という目標を書いたものが有名です。マンダラシートとは、1枚の紙に3×3のマスを書き、その中心に大目標を、その周囲にそれを達成するための中目標を書き、さらに達成するための手立てを具体的に記入し、実践していくものです。大谷選手の大目標は「8球団からドラフト1位指名を受ける」というものでした。さらに中目標として、「スピード160km」「変化球」「キレ」など野球の技術に関することから、「人間性」「運」といった人として大切なものまで書き入れています。このように、明確な目標と具体的な手立てを持つことは夢を実現するときには大変重要であると言えます。

もう一つ、今年とてもうれしいニュースが飛び込んできました。それは、二宮中学校出身の阿部和弘さんが日本ハムファイターズの育成選手として、プロ野球選手の一員となったことです。日本ハムファイターズと言えば、先ごろBig Bossこと新庄剛志監督が注目されましたが、2021年新入団選手発表会で、阿部選手も紹介されました。

阿部選手は、二宮中学校野球部から平塚学園高校野球部に進み、夏の高校野球神奈川大会においてスピードを生かした活躍をし、スカウトの目に留まりプロ野球選手の道へ進むこととなりました。スポーツ新聞に載った阿部選手の記事の中で「最後の最後で選ばれてホッとしました。3年の夏の時点で野球を辞めるつもりで、消防士になろうと思っていました。日ハムのスカウトさんに評価していただいて、また野球を続けられることに喜びがあります。ここまで育ててくれたすべての人に、感謝したいです。」と語っています。

大谷選手や阿部選手からは、目標を持つことや努力することの大切さを学ぶとともに、人として感謝すること、人とのきずなを大切にすることが、夢の実現には欠かせないことであると教えられます。

スポーツの世界だけではなく、社会全般で同様のことは言えると思います。令和4年の幕開けに、自分の夢を実現するために、どのような取り組みをするかしっかりと考えていきましょう。

(この内容は、令和3年度2学期の終業式で生徒の皆さんに伝えたものです)

大谷翔平選手が高校1年生の時に書いた
マンダラチャート



2021年 日本ハムファイターズ新入団選手発表



Big Boss

阿部和弘選手